



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 大伸化学株式会社
 コード番号 4629 URL <http://www.daishin-chemical.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉浦 久毅
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 山口 利美

TEL 03-3432-5872

四半期報告書提出予定日 平成28年11月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	11,952	△9.5	1,157	34.0	1,162	34.5	779	34.8
28年3月期第2四半期	13,207	△4.7	863	119.2	864	119.0	578	137.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	171.44	171.07
28年3月期第2四半期	127.53	127.23

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	17,190	10,455	60.8
28年3月期	16,989	9,844	57.9

(参考)自己資本 29年3月期第2四半期 10,452百万円 28年3月期 9,840百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
28年3月期	—	0.00	—	37.00	37.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

28年3月期期末配当金の内訳 普通配当 25円00銭 特別配当 5円00銭 記念配当 7円00銭

3. 平成29年3月期の業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,566	△8.4	1,714	4.4	1,711	4.4	1,148	3.5	252.62

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、3ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、3ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	4,592,000 株	28年3月期	4,592,000 株
29年3月期2Q	47,575 株	28年3月期	47,575 株
29年3月期2Q	4,544,425 株	28年3月期2Q	4,533,274 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表の四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報をもとに行った見込であり、今後の経済情勢、事業運営における様々な状況変化によって、実際の業績と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は添付資料の3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀による金融政策を背景に、企業収益や雇用情勢の改善が続くなか、景気は緩やかな回復基調が見られるものの、中国経済の減速や英国の欧州連合(EU)離脱問題による為替や株価の変動により、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社が主として関連する塗料業界におきましては、こうした経済環境のもと、出荷数量は減少いたしました。

このような情勢のもとで、当社における当第2四半期累計期間の製品出荷数量は、74,733トン(前年同期比0.8%増)となりました。

当第2四半期累計期間の業績といたしましては、売上高は新規需要開拓等により製品及び商品の出荷数量は増加しましたが、国内の原油・ナフサ市況が前年に比べて低水準で推移したことにより販売単価が下落したため、119億52百万円(同9.5%減)と減収となりました。

主な品目別の売上高は、ラッカーシンナー類が3億72百万円(同7.2%減)、合成樹脂塗料用シンナー類が3億34百万円(同7.2%減)、洗浄用シンナー類が8億66百万円(同3.1%減)、印刷溶剤類が22億14百万円(同10.5%減)、特殊シンナー類が12億88百万円(同2.4%減)、単一溶剤類が48億84百万円(同11.9%減)、エタノール・その他が6億9百万円(同13.2%減)、単一溶剤を中心とした商品が13億82百万円(同8.4%減)となりました。

一方損益面では、販売数量の増加等に加えて、原料市況に対応した効率的な原材料購入を引き続き推進した結果、営業利益は11億57百万円(同34.0%増)、経常利益11億62百万円(同34.5%増)、四半期純利益7億79百万円(同34.8%増)となり、いずれも大幅な増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の総資産は、171億90百万円(前事業年度末比2億1百万円増)となりました。これは主に、現金及び預金の増加(同2億29百万円増)、原材料及び貯蔵品の増加(同55百万円増)等があったものの、受取手形及び売掛金の減少(同37百万円減)等があったことによるものであります。

負債総額は、67億35百万円(前事業年度末比4億10百万円減)となりました。これは主に、短期借入金増加(同1億20百万円増)、未払法人税等の増加(同15百万円増)等があったものの、支払手形及び買掛金の減少(同2億89百万円減)等があったことによるものであります。

純資産は、104億55百万円(前事業年度末比6億11百万円増)となりました。これは主に、利益剰余金の増加(同6億10百万円増)等があったことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べて2億29百万円増加し、35億31百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において営業活動の結果得られた資金は、4億90百万円(前年同期は2億93百万円の収入)となりました。これは主に、税引前四半期純利益の計上11億56百万円、売上債権の減少37百万円等があったものの、たな卸資産の増加34百万円、仕入債務の減少2億89百万円及び法人税等の支払額3億63百万円等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において投資活動の結果使用した資金は、1億71百万円(前年同期は50百万円の収入)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1億61百万円等があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において財務活動の結果使用した資金は、89百万円(前年同期は1億84百万円の支出)となりました。これは主に、長期借入れによる収入1億円等があったものの、長期借入金の返済による支出94百万円、配当金の支払額1億68百万円等があったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、第2四半期及び通期の業績予想の見直しを行った結果、平成28年5月13日の決算短信で公表いたしました、第2四半期及び通期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、平成28年10月21日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。これによる損益への影響は軽微であります。

(3) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期会計期間から適用しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,055,908	4,285,610
受取手形及び売掛金	7,157,525	7,120,327
商品及び製品	126,187	104,564
原材料及び貯蔵品	462,325	518,110
その他	569,995	552,559
貸倒引当金	△2,038	△2,015
流動資産合計	12,369,903	12,579,156
固定資産		
有形固定資産	3,359,222	3,378,152
無形固定資産	69,999	67,486
投資その他の資産		
その他	1,214,108	1,189,448
貸倒引当金	△23,783	△23,782
投資その他の資産合計	1,190,325	1,165,666
固定資産合計	4,619,547	4,611,304
資産合計	16,989,451	17,190,460
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,015,205	4,725,926
短期借入金	—	120,000
1年内償還予定の社債	70,000	70,000
1年内返済予定の長期借入金	173,500	165,000
未払法人税等	380,644	396,000
賞与引当金	130,930	121,920
役員賞与引当金	55,275	—
その他	551,907	409,546
流動負債合計	6,377,462	6,008,392
固定負債		
社債	210,000	175,000
長期借入金	199,000	213,000
退職給付引当金	163,177	156,477
役員退職慰労引当金	143,991	128,575
その他	51,698	53,819
固定負債合計	767,867	726,871
負債合計	7,145,329	6,735,264

(単位:千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	729,000	729,000
資本剰余金	671,198	671,198
利益剰余金	8,451,059	9,062,016
自己株式	△34,423	△34,423
株主資本合計	9,816,835	10,427,791
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	24,091	24,210
評価・換算差額等合計	24,091	24,210
新株予約権	3,195	3,195
純資産合計	9,844,121	10,455,196
負債純資産合計	16,989,451	17,190,460

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	13,207,213	11,952,923
売上原価	10,908,767	9,296,788
売上総利益	2,298,445	2,656,134
販売費及び一般管理費	1,434,501	1,498,172
営業利益	863,944	1,157,961
営業外収益		
受取利息	204	211
受取配当金	9,834	8,059
その他	8,651	9,495
営業外収益合計	18,690	17,766
営業外費用		
支払利息	5,619	3,329
手形売却損	9,125	7,430
社債利息	2,650	2,108
その他	401	69
営業外費用合計	17,796	12,938
経常利益	864,838	1,162,789
特別利益		
固定資産売却益	3,238	534
受取保険金	63,285	—
新株予約権戻入益	1,098	—
特別利益合計	67,621	534
特別損失		
固定資産売却損	—	7
固定資産除却損	22	6,696
社葬費用	16,287	—
特別損失合計	16,309	6,704
税引前四半期純利益	916,150	1,156,620
法人税等	338,022	377,520
四半期純利益	578,127	779,100

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	916,150	1,156,620
減価償却費	150,525	142,888
売上債権の増減額(△は増加)	△137,595	37,198
たな卸資産の増減額(△は増加)	78,340	△34,162
仕入債務の増減額(△は減少)	△297,339	△289,278
その他	△171,423	△162,324
小計	538,658	850,941
利息及び配当金の受取額	10,039	8,270
利息の支払額	△8,270	△5,437
法人税等の支払額	△247,111	△363,493
営業活動によるキャッシュ・フロー	293,316	490,281
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△51,898	△161,057
有形固定資産の売却による収入	5,227	853
無形固定資産の取得による支出	△7,129	△2,120
投資有価証券の取得による支出	△658	△664
貸付金の回収による収入	2,356	4,331
保険積立金の積立による支出	△42,345	△14,863
保険積立金の解約による収入	147,207	585
差入保証金の差入による支出	△60	△15
差入保証金の回収による収入	232	1,446
その他	△2,400	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	50,529	△171,502
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	120,000	120,000
長期借入れによる収入	—	100,000
長期借入金の返済による支出	△144,500	△94,500
社債の償還による支出	△35,000	△35,000
リース債務の返済による支出	△996	△1,020
長期未払金の返済による支出	△10,324	△10,412
配当金の支払額	△113,331	△168,143
財務活動によるキャッシュ・フロー	△184,152	△89,076
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	159,694	229,701
現金及び現金同等物の期首残高	2,422,082	3,301,908
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,581,776	3,531,610

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社の事業は、シンナー製造事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。